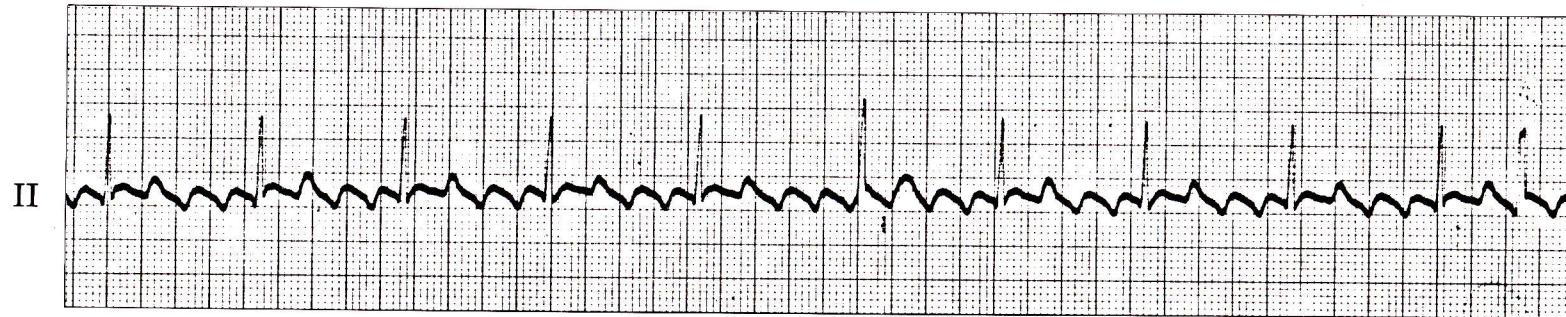


症例 29

●45歳 女

易疲労感、労作時の動悸、息切れを主訴として来院した。



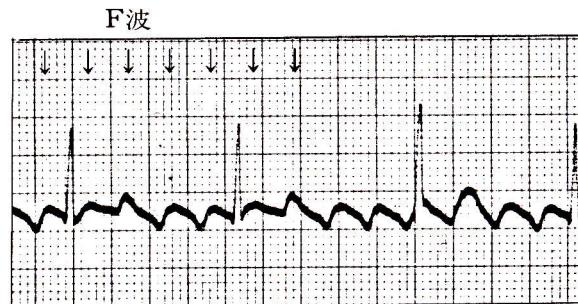
- 1) このリズムは何か。
- 2) 治療はどうすればよいか。

心電図診断

心房粗動(4対1伝導)

基線に鋸歯状の規則的な振動（心房粗動波すなわちF波）。

F波の頻度は300/分。F波4個に対し、QRS波が1個でている。



解 説

62

一般にF波は220～370/分の頻度で、II、III、aVF、V₁では鋸歯状のゆれとして観察される。心房細動より高率に基礎疾患を認め、その検索が肝要である。治療のfirst choiceはジギタリス療法で、1～2日間ジギタリスを十分投与し、心房細動に移行させてから、ジギタリスを中止すると洞調律にもどることが多い。ジギタリス療法により洞調律に復帰させられない場合には電気ショック療法が試みられる。